

取扱説明書

株式会社 和工

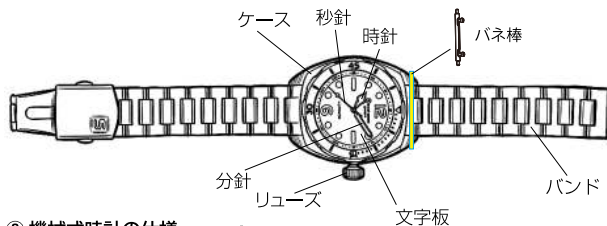
お客様へのご注意

1. お買い上げいただいた腕時計は、本体、金属バンド又は皮革バンドが直接肌に密着しますので、場合によっては金属アレルギーや皮膚のかぶれを起こすことがあります。その時はただちに使用をおやめ下さい。
2. 時計を装着した腕で身体をこすったりすると身体に傷をつける場合がありますのでこのような行為はおやめ下さい。
3. サウナ風呂など高温の場所で使用すると火傷をすることがありますので使用をさせて下さい。
4. 時計をしたまま激しい運動をしますと、それが原因で時計が破損して怪我をする場合がありますので運動時の使用はおやめ下さい。
5. 万一、時計が落下して破損した場合は、速やかに破損片をかたづけて下さい。お客様が部品を飲み込んだり、思わぬ怪我をする場合があります。
6. 汗、及びほこり等により衣服の袖口が汚れる事があります。(時計のお手入れ方法をご参照下さい。)
7. 時計は、潜水用ではありませんので潜水時の使用はおやめ下さい。
8. 時計を改造して使用した場合の怪我等については、保証をいたしかねますので予めご了承ください。
9. 誤った使用によって怪我をした場合の保証はいたしかねますので予めご了承ください。
10. 健康器具(磁気)等との併用は、時計の時間遅れの原因となりますのでお避け下さい。

保証規定

- *保証期間に正常なご使用状態で、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。
- *つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理となります。
- (イ) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷。
- (ロ) 不適当な修理や、改造による故障または損傷。
- (ハ) 火災、水害または地震など、天災地変による故障または損傷。
- (ニ) ご使用中に生じた外観上の変化。(ケース、ガラス、バンドの小キズなど)
- (ホ) 保証書の字句を書き換えられた場合。
- (ヘ) 保証書の提示がない場合。
- *革バンド・合成樹脂バンド及び電池などの消耗品は保証の対象外になります。
- *修理の際、ケース、文字盤、針、ガラス、バンドなどは、一部代替部品を使用させていただく場合もございますのでご了承ください。
- *本保証書は明示された保証期間及び保証条件に従い、対象製品に対して無償修理をお約束するものです。
- *当社宛郵送又は輸送の際の料金は、お客様にてご負担願います。
- (注)誤った使用又は非防水時計を水中に入れた場合、高温または低温のところに時計を置く場合などの使用状態を言います。

①時計各部の名称



②機械式時計の仕様

4

キャリバー	振動数	石数	精度日差	持続時間(全巻上げ)
三針	21,600振動 時間	21石	-20秒～ +40秒	180°(半回転)で70回以上 約42時間

- ※精度日差は常温において、ぜんまいを全巻にし、時計を上向きで静置した状態にて、24時間経過した時の日差です。
- ※自動巻機械時計の特性上、ご使用になる条件(携帯時間・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等)によっては、携帯精度の範囲を超える場合があります。
- ※製品仕様は改良のため予告なく、変更する事があります。

③自動巻きの機構について

この時計は自動巻機械時計です。

ぜんまいは時計を腕に付けた状態で通常の腕の動きで自然に巻くことができます。

止まっている時計をご使用になる場合は、リューズを右方向に30～40回転以上回して下さい。運針を開始しますので秒針が動き始めたら時刻を合わせて下さい。

この時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で約42時間動き続けます。

ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、精度を保つために1日8時間以上携帯することをおすすめします。

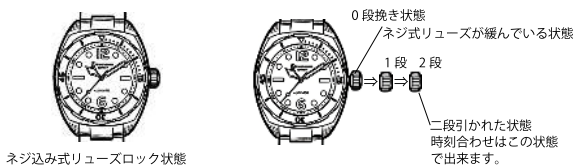
④時刻の合わせかた

本腕時計は、ネジ込み式リューズを採用しております。下記の方法で時刻合わせを行って下さい。

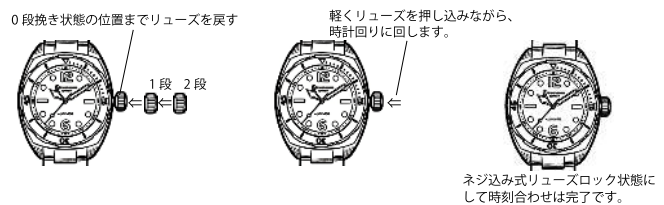
【ねじ込み式リューズの緩め方(ロック解除)】

リューズを反時計回り(手前方向)に回して下さい。数回転まわしていただきますと、ネジのロックが外れ、リューズが「ポコッ」と手前に少し飛び出します。(0段引き状態)この状態(ロックが解除された状態)から、ゼンマイの巻き上げや時刻の調整を行っていただけます。

- ・ぜんまいの巻き方
リューズが飛び出した状態(0段挽き状態)から緩めた状態で時計回りへ回しますとぜんまいを巻く事が出来ます。
※止まっている場合は、右方向に30～40回転以上回して下さい。
- ・時刻の合わせ方
矢印の方向へ2段リューズを「カチッ、カチッ」と引くと時刻を合わせる事が出来ます。リューズを親指と人差し指の腹でつまみ、時計回り(12時方向)にゆっくりと回して現在の時刻を合わせて下さい。



- ・リューズのロック方法
時刻合わせがおわりましたら、リューズを0段引き状態にもどします。
0段引きからケース方向(矢印の方向)へ軽くリューズを押し込みながら、時計回りに回します。ネジが噛み合いましたら、止まる位置までしっかりと回し込んで下さい。
これでネジ込み式リューズのロックは完了です。



⑤バンドの脱着方法

バンドのバネ棒は、「クイックリリース式」のバネ棒が採用されています。次の説明を参照下さい。

◆バンドを外す手順◆

- ・突起の位置を確認する
時計を裏返し、バンドの付け根(バネ棒)にある2つの小さな突起を確認します。
- ・突起を内側につまむ
両手の指を使い、①の2つの突起を中央に向かって同時につまむように②の方向へスライドさせます。これにより、バネ棒の先端が内側に引っ込みます。
- ・本体から引き離す
突起を内側に押し込んだ状態を維持したまま、バンドを時計本体からゆっくりと手前に引き離します。
- ・取り外し完了
時計本体からバンドが完全に分離します。



◆バンドを取り付ける手順◆

- ・バネ棒を縮める
外す時と同様に、バネ棒の2つの突起を指で内側につまみます。
- ・時計本体に合わせる
突起をつまんでバネ棒を縮めた状態のまま、時計本体のラグ(取り付け部の穴)にバンドの位置を合わせます。
- ・指を離して固定する
正しい位置に一致したら指を離します。バネ棒の先端が時計本体の穴に入り、しっかりと固定されれば取り付け完了です。
- ・確認のポイント
取り付け後は、時計を着用する前にバンドを軽く引っ張り、外れないことを必ず確認してください。

⑥ナイロンバンドの取り付け方

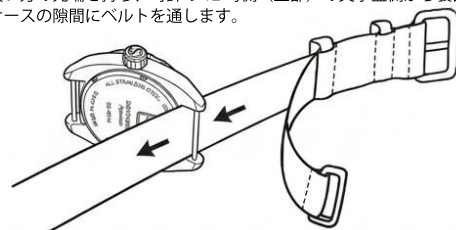
◆バネ棒を時計に取り付ける◆

準備まずは時計本体にバネ棒だけが装着されている状態にします。元々ついているベルトは外しておいてください。



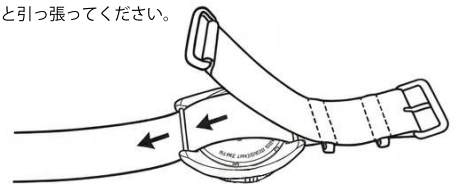
◆12時側からベルトを通す◆

ベルトの長い方の先端を持ち、時計の12時側(上部)の文字盤側から裏面に向かって、バネ棒とケースの隙間にベルトを通します。



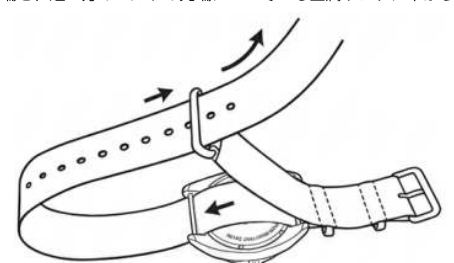
◆6時側へ引き抜く◆

時計の裏面を通したベルトを、今度は6時側(下部)の裏面から文字盤側に向かって、バネ棒とケースの隙間を通して引き抜きます。時計本体がベルトの金具(尾錠)付近まで来るように、しっかりと引っ張ってください。

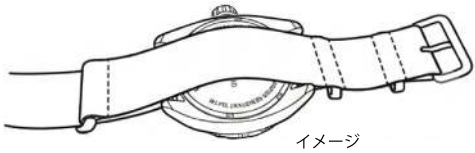


◆短いパーツのリングに通す◆

引き抜いた長いベルトの先端を、短い方のベルトの先端についている金属リングに下から上へ通します。



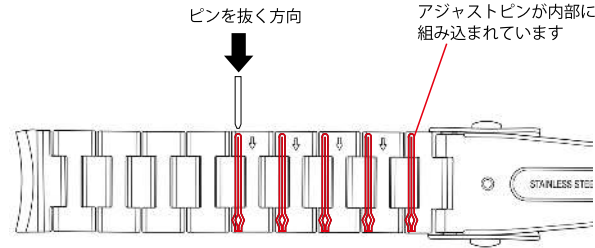
◆時計を固定する◆
リングに通したベルトを最後まで引っ張り、短いベルトと長いベルトで時計本体を挟み込むようにしっかりと固定できれば完成です。



イメージ

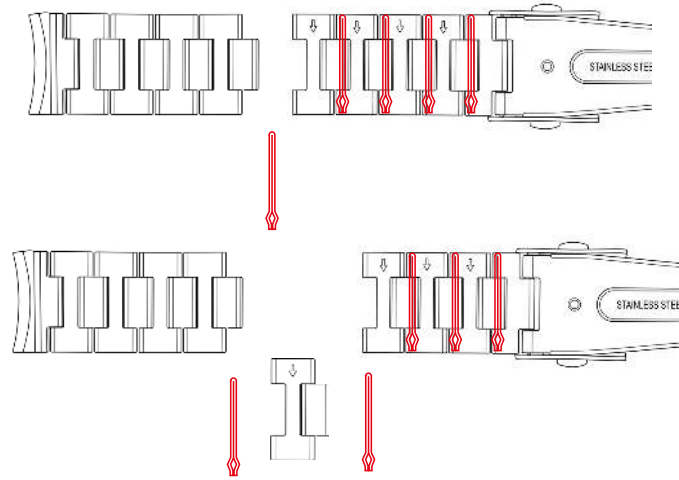
⑦バンドサイズ調整方法について

裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。

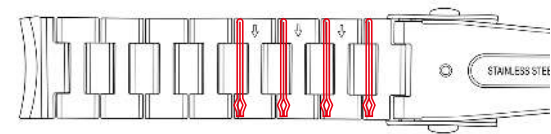


必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。

下記は、一コマ詰める例



バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。



⑧防水性について

用途は下図参照の事

タイプ	使用条件	●一般的にかかる水滴 (洗顔・雨等)			
		●水泳、ヨット等の水上スポーツ、漁業・農業等の水仕事、水道の蛇口等強い水流	●酸素ボンベを使用しないスキندайビング	●水中でのリュース操作並びに水滴の付いたままでのリュース操作	
強化防水20~30気圧		○	○	○	×
強化防水10気圧		○	○	×	×
強化防水5気圧		○	×	×	×
日常生活用防水		○	×	×	×
非防水		×	×	×	×



⑨使用上の注意事項

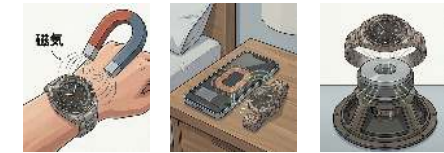
1、温度について
直射日光の当たる場所や高温または低温の環境下に長時間放置しないようご注意ください。故障の原因(遅れ・進み)や電池寿命の短縮につながるおそれがあります。
※特に-5℃以下または+50℃以上の環境下で長時間放置すると、動作不良の原因となります。



2、ショックについて
軽度のスポーツによる影響はほとんどありませんが、激しい動きを伴うスポーツの場合は破損やケガの原因となるおそれがあるため、ご使用をお控えください。
※床や道路などへの落下を含む激しい衝撃を与えることはお控えください。



3、磁気について
磁石や磁石付きの製品、磁力を発生する製品などには近づけないでください。
※磁気の影響で時刻がずれる場合は磁気源から遠ざけて時刻を修正してください。
必要に応じて磁気抜きを行ってください。



4、振動について
オートバイ・削岩機・チェーンソーなどの強い振動が加えられた場合一時的に遅れる原因となります。



5、化学薬品・ガス等について
ガス・水銀・化学薬品など(シンナー、ガソリン各種溶剤又それらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品等)が触れるとケース、バンド、文字盤に変色が生じます。



6、海水に入ったときのお手入れ方法
ケースについた海水を真水でよく洗い落としてサビが出ない様にしてください。又、洗った後は柔らかい布等でよく水分を拭き取ってください怠りますとケース・バンドにサビが発生し腐食の原因となります。

⑩時計のお手入れ方法

●ケース・バンド
ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服の袖口を汚したり、支度の弱い場合は、かぶれたりします。汚れや水分はやわらかい吸湿性のよい布で拭きとり、常に清潔にしてご使用ください。また汗をかきやすい季節には、バンドを少しゆるめにつけ通気性をよくして下さい。



●金属バンド
時々やわらかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどをして下さい。(汚れたままにしておきますと、サビたり食してしまいます。)
※非防水時計は時計本体に水がかからないようにご注意下さい。



●皮革バンド
水分、汗、汚れなどが大敵です。皮膚がかぶれる原因となりますので時計をはずしたあとは、吸湿性のよい布で拭いて、風通しの良い所においてください。



●点検のすすめ
電池交換時または2~3年に1度の点検をおすすめします。保油状態・漏液の有無・汗や水分浸入の有無などを、お買い上げ店または、販売店で点検してもらってください。
点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。
※そのときにパッキンやバネ棒の交換を御依頼下さい。
※部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

